



塩竈市立月見ヶ丘小学校 学校だより

令和4年2月1日

第 15 号

つきみがおか

TEL 362-2441
FAX 362-2492

◇学 校 教 育 目 標： 夢や希望をもち、自ら学び、心豊かに、たくましく生きる児童を育成する
◇目 指 す 子 ども 像： ○思いやりのある子ども ○進んで学ぶ子ども ○健康でたくましい子ども
＜やさしく＞ ＜かしこく＞ ＜たくましく＞



「福は内！」よいことを招く2月に！



校長 片岡 明恵

1月は「行く」。2月は「逃げる」。3月は「去る」。

その言葉どおり、1月の授業日（14日）はあっという間でした。この14日間、子供たちの笑顔と明るい歓声は寒さに負けず、はつらつとしていました。低学年では2月3日の節分に向けて、自分の中の「退治したい鬼」を掲示しています。子供たちの思いがかわいらしくて寒い日も心が和みます。『なんでもあきらめる鬼』『ゲームの時間鬼』『食べず嫌い鬼』『言葉づかい鬼』『忘れん坊鬼』…。一人一人、自分の弱いところを改善したいと思う向上心にあふれています。

先日、次年度から始まるコミュニティ・スクールの会議が行われました。その中で地域の方から次のようなうれしいお話をいただきました。

「横断歩道のところで車を止めると、寒いのに子供たち、頭ぺこっぺこっと下げていくんだよね。めんこくなってくっちゃねえ。」

「わくわくスポーツの片付けをしていたら、ずっと道具の片付けを手伝う子供たちがいて、『片付けていただいてありがとうございます』って言われました。そんなふうに子供たちから言われたのは初めてです。感動しました。すばらしいですね。」

「月見ヶ丘小の子供たちは、なんでこんなに素直で、いい気持ちをもっているんでしょうねえ。」

まっすぐで素直な子供の心は、ご家庭の温かい言葉掛けと優しい見守りと眼差しのおかげで育つものです。ご家庭と学校と地域が一体となって子供たちを見守り支えることができれば、ますます「福」が舞い込むものと思います。

新型コロナウイルス感染症の地域レベルは「2プラス」と深刻な状況になりましたが、これまで以上に感染症予防対応を進めながら、子供の成長や頑張りを喜び合える2月にしたいと思います。ご理解とご協力、お子様への励ましをどうぞよろしくお願いいたします。



新型コロナウイルス感染症 予防対応に御協力を！

- ① 不要不急の外出を控える
- ② マスクを鼻まで覆って着用する
- ③ 換気をする
- ④ 外出後、食事前等に手洗いをする
- ⑤ 密集した場に行かない
- ⑥ ほかの人と体の接触を避ける（厚生労働省）

オミクロン株の症状は「風邪症状」と似ています。感染力の強いオミクロン株の感染拡大を防止するため、自分自身や大切な人を守るため、少しでも風邪症状がある場合は、大事を取って体調回復に努め、無理な登校は控えるようにお願いします。

*先日の臨時休校へのご協力にも感謝いたします。

冬季北京オリンピック パラリンピックの開催

世界中が新型コロナウイルス感染症拡大を不安に思う中、選手団はどのような思いでオリンピックに向かったのだろう…。選手の気持ちを思うと、いつも以上に声援を送りたくなります。

今大会のスローガンは「共に未来へ」。

厳しい寒さと不安な状況下で、各選手は自分自身と戦い、4年間の努力の成果を発揮しようと奮闘します。

お子様と一緒に声援を送りながら、選手と共に感動し、未来への希望を感じ取れますように…。